



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2019・6・26 第6号

学年主任 森本 聡一郎

1. 一生懸命やれば見えてくること。 鳳鳴祭を終えて

一生懸命やれば見えてくることがある。「逆もまた真なり」で、一生懸命にならなければいつまで経っても分からないことがある。中途半端な努力しかできない者が、頑張る相手を見て「自分はそのままで頑張っていないだけのことで、やればそれぐらいはできる」と思うのはあまりに惨めである。それが自分の限界点であり、そこから先へ進めないということがみえていないことは悲劇であり、滑稽である。

準備段階の1年生はまさしくそのような感じであった。照れくさそうにするため、動きは小さくぎこちない。また、挙動が揃わず、だらしなく見える。しかし、本番が近づくにつれ、合唱も応援練習も変化が見えてきた。少しずつ本気になるキミ達がいた。本番では見違えるような別人がそこにいた。上手下手ではなく、気迫が伝わってきた。みんなのために何かをするという使命感に溢れる表情がそこにあった。すごく格好いいなと思った。行事で一つ成長できたことは大きな成長である。次を期待している。

You did a good job! We're really proud of you all!

合唱コンクール 審査員特別賞 1年4組 「奏」

体育祭結果 6月20日(木)実施 天候：晴 10時現在27℃

総合の部	優勝	3年3組	準優勝	3年4組	第3位	2年4組
競技の部	優勝	3年3組	準優勝	3年4組	第3位	2年4組
応援の部	優勝	3年4組	準優勝	3年1組	第3位	3年3組

【障害物競走】	① <u>1年2組</u>	② 3年2組	③ 3年4組	④ 3年3組	⑤ 2年3組
【ムカデ競走】	① 3年4組	② <u>1年4組</u>	③ 2年4組	④ 3年1組	⑤ 3年3組
【スウェーデン】	① 2年2組	② 3年3組	③ 3年2組	④ <u>1年3組</u>	⑤ 3年4組
【女子400mR】	① <u>1年1組</u>	② 3年3組	③ 3年2組	④ 2年3組	⑤ 3年1組
【男子800mR】	① 3年4組	② 3年3組	③ 2年3組	④ 3年1組	⑤ 2年1組
【綱引き】	① 2年1組	② 2年4組	③ <u>1年4組</u>	④ 3年3組	
【大縄跳び】	① 2年4組	② <u>1年4組</u>	③ <u>1年3組</u>	④ 3年4組	

誇り高き敗者であったキミ達へ

1年生はバリバリのベッタ争いになりましたが、非常によく頑張りました。その参加姿勢を高く評価しています。ほんのり日焼けした顔には充実感が伺え、みんないい顔つきをしていましたよ。

世の中には勝利よりも

もっと誇るに足る敗北があるものだ モンテーニュ (フランス思想家)

ただ一人、たった一つのチームが手にすることができる優勝という栄冠。努力や辛抱の末に勝ち得た栄冠に対して、観衆はその素晴らしさを賞賛します。しかし、その真の値打ちを

理解する者は、観衆でも最終勝利者でもなく、むしろ同じ分野で競ってきたライバル達ではないでしょうか。優れた敗者というのは、悔しきや羨望（せんぼう）を味わうだけでなく、努力してきた自分たち以上のことを成し遂げた者に対する真の評価ができるものです。

惨めな敗者は自分の不運を嘆き、相手を高く評価しません。その相手を酸っぱい葡萄に喩えるかもしれません。しかし、高く評価しない相手に負けた自分たちはもっと惨めです。そして、それが大したことのない競技だと言うのなら、そのために頑張ってきた自分たちとは一体何だったのでしょうか。

それでも、勝負事に運・不運はつきものであり、必ずしも力があるだけで頂点に立てるとは限りません。栄冠の有無は別として、「自分たちなりにやり切った。正々堂々と力を尽くした。うまくいかない場面でも言い訳したり、他人のせいにしてはしなかった。相手に敬意をもって戦えた」と言える人こそが、誇り高き競技者なのです。優勝者は立派ですが、このような誇れる敗者でも同等の賞賛を与えられるのだと思います。勝った負けたも大事かもしれませんが、それ以前に絶対に外してはいけない大切なことがあるのです。その意味でキミ達の顔つきは良かったですよ。お疲れさまでした。

体育大会を終えて

1組 山下 智己

文化祭パート練習の初日、男子は数人しか真剣に取り組まず、全然まとももなく大丈夫なのかと思っていました。しかし、練習を重ねるごとに「青いベンチ」という歌にハマってしまったのか練習以外の場面でも口ずさんでいました。本番ではすごく緊張しましたが、1組としては最高の合唱ができました。体育祭の応援合戦では、文化祭と違い、最初からまともがあり、ダンスも早く覚えることができていました。他のクラスの応援内容を見たとき、1年1組だけ違うパフォーマンスであり、少し嫌だなと正直感じました。が、本場前には皆の口から「楽しもう」という声掛けがあり、素晴らしい応援ができた実感しています。賞状とかは関係なく、クラス全員が一つになって出来たことが何よりも嬉しく思います。この鳳鳴祭で手にした友情や団結力をこれからの学校生活に生かしたいです。

2組 田中 大雅

中学校とは違って、練習期間の少ない合唱練習でしたが、みんなで朝練習や放課後も練習に取り組み、本番に臨むことが出来ました。クラス全員で協力できたことは、どんな賞以上に素晴らしく、最高の時間を過ごせたと思います。クラスの絆も当然、深まりました。そして、休む間もなく、始まった体育祭。自分は用器具係に当たっていたので、応援席にはいませんでしたが、終始笑顔が絶えることなく、クラスの応援ができました。今回の鳳鳴祭は先輩の背中を見ているだけでしたが、来年は自分たちが背中を見せる学年です。

3組 長澤 柚乃

合唱練習も応援練習も朝早く登校し、練習してきました。文化祭では賞は取れなかったけど、お互いのパートでアドバイスし、刺激し合えたことがとても印象に残っています。体育祭では、競技に出ている生徒をクラス全員で応援したり、応援合戦では3年生に引けを取らないくらい、良い応援ができました。みんなの前に立って何かをすることが得意な子や苦手な子がいますが、リーダーシップとフォロワーシップがとれており、協調性があるクラスだと感じました。ここから気を緩めることなく、鳳鳴祭で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいです。

4組 竹内 結奏

私たちにとって初めての鳳鳴祭が無事に終了しました。まず文化祭。練習の成果を発揮し、私たちの歌声をホールいっぱいに響かせることができました。審査員特別賞までいただき、皆で喜べたことは誇らしく思います。そして体育祭。応援リーダーを中心に練習し

た応援合戦は大きな拍手をいただき、達成感を得ることができました。初めての鳳鳴祭を通して、お互いに知らなかった一面を垣間見たり、時にはぶつかったりもしましたがクラスの絆を確実に深める、良き思い出となりました。しかし、思い出だけで終わらせず、来年、再来年へとつなげていき、まずは期末考査からもう一度気を引き締め、全員で頑張っていきたいと思います。

2. 期末考査時間割

時間割	7月2日(火)	7月3日(水)	7月4日(木)	7月5日(金)	7月8日(月)
1	国語A	数学A	コミュ英語	情報	保健体育
2	現代社会	物理基礎	化学基礎	英語表現I	国語B
3			数学I		

1学期の成績を決める大切なテストです。気分が乗らなくてもとにかく勉強を始めましょう。教科書を音読したり、基本例題を解くだけでも効果はあります。勉強のコツは、ただ見ているだけではなく、手を動かして書いたり、声を出して耳で聞いたり、いろいろな感覚を使うことです。**しんどいことから目をそらさず、自分を信じて取り組みましょう。自分に負けるな！みんな悩んでいる。小さな努力の積み重ねから得るものが絶対にあります。**

3. 進研模試について

6月29日(土)に行います。高校に入学して初めての模試となります。定期考査とは違い、勝負するのは全国の同級生です。普段の考査より試験時間が長く(数学は80分)、問題も難しくなっていますが、高校に入学してから学んだことを少しでも生かせるように、最後まであきらめずに全力で取り組んでください。

また、定期考査同様、模試には今まで学習してきたことが凝縮されています。受験後は必ずやり直しをして、苦手な部分を克服できるようにしましょう。

- 8:35 出席点呼
- 8:40 国語(60分)
- 9:45 カード記入
- 10:00 英語(60分)
- 11:10 数学(80分) 12:30 終了

4. 7月の予定

- 7月 2日(火) 期末考査(～8日) 文理選択保護者説明会(市民センター)
- 9日(火) 考査返却
- 10日(水) 考査返却 ③総合 ④LHR
- 11日(木) ①②GTEC ③人権HR ④学年球技大会
- 12日(金) ①②ボキャブラリーコンテスト ③薬物講演会 ④関学生講演会
- 16日(火) キャリア教育講演会(市民センター)
- 17日(水) ①進路HR ②人権講演会 ③総合 ④避難訓練
- 18日(木) ①②授業 ③学年集会 ④LHR
- 19日(金) 大掃除、終業式、LHR(午後、成績不振者指導)
- 22日(月) 前期補習(～31日)
- 27日(土) 第1回オープン・ハイスクール